

第4章 文化と伝統の香り高い環境の創造

機能面や安全面、生態系にも配慮した快適で住みよい環境を実現するための身近な環境づくり、地域の環境づくりを府民、事業者、行政が一体となり取り組むとともに、水や緑に親しむことができる空間や広場等のオープンスペース、地域の歴史や個性が活かされた街並みを確保するため、各種の施策を相互に有機的に連携しながら展開することとして、以下の施策を講じた。

第1節 潤いと安らぎのある都市空間の形成

第1 緑豊かなまちづくり

①都市公園の整備

■健康と生きがいを支える府営公園の整備

府営服部緑地他6公園の維持管理を行うとともに、蜻蛉池公園テニス村等の施設整備を行った（2-50表）。

■市街地に広大な森林をつくる府営公園の整備

府営大泉緑地のふれあいの庭を整備し、開設面積の拡大と充実を図るとともに、施設の維持管理を行った（2-50表）。

■市町村公園緑地整備への助成

府民の生活環境の向上を図るための都市公園事業を行う市町村（9市11公園）に対し補助金を交付した。

②道路・街路等の緑化

■大阪府道路環境計画（スプリングロード21）の策定

21世紀初頭（概ね2010年）を目標に、人や自然にやさしい、きめ細かな心づかいをするとともに、沿道に暮らす人々が豊かさや快適さを実感できるような道路づくりを基本理念とした大阪府道路環境計画（スプリングロード21）を平成7年8月に策定した。

■彩りの街整備事業の推進

都市緑化計画に基づき、市町村が行う地域に根ざした都市緑化事業（6市8地区）に対し、補助を行った。併せて、平成9年度の国体開催に向けて、国体会場の最寄り駅や幹線道路からのアクセスとなる街路や会場周辺を対象とした緑化事業（12市町14地区）に対し、補助を行った。

■街路樹等の整備

地域の顔・シンボルとなる路線に花木の植栽等を行って彩りを添えるとともに、成育の不良な街路樹・維持管理の困難な樹種の更新、枯損木の補植等を行った。なお、府管理道路の街路樹は平成7年4月1日現在で396kmであった。

③公共施設の緑化

■庁舎・府営住宅の緑化

「施設緑化10か条」に基づき、庁舎、府営住宅の緑化を推進し、まちの「みどりの拠点」となり環境と調和する公共建築物を整備した。府営住宅については、身近に自然に接する場を府営住宅入居者に提供す

るため、既設府営住宅内の緑化等団地環境整備工事を、平成7年度は12団地で実施した。また、既設府営住宅内へ駐車場を整備する場合、入居者への住環境を配慮した緑化等環境対策工事を、平成7年度は31団地で実施した。

2-50表 府 営 公 園 の 概 要

(平成8年3月31日現在)

公園名	位 置	計 画 決 定		開 設		概 要	7年度事業概要
		面積(ha)	年 月 日	面積(ha)	年 月 日		
服部緑地	豊中市 吹田市	142.0	昭16.12.3 昭46.12.10	126.3	昭25.8.1	陸上競技場や都市緑化植物園などの総合施設を有する広域公園	ウォーターランド整備 用地買収
箕面公園	箕面市			83.8	明31.5.20	箕面の滝と溪流が一体となった森林美など風致を主体とした公園	
寝屋川公園	寝屋川市	54.4	昭44.5.23 平5.12.15	22.9	昭57.11.1	北河内における運動施設を主体とした広域公園として整備	野球場改修 用地買収
山田池公園	枚方市	75.2	昭44.2.5 昭59.11.14	45.4	昭54.10.1	北河内における緑豊かな広域公園として整備	せせらぎ水路整備 用地買収
深北緑地	寝屋川市 大東市	44.7	昭53.7.17 昭62.9.2	17.5	平3.11.8	東部大阪の浸水対策と平常時の有効利用として整備	入口広場整備 用地買収
久宝寺緑地	八尾市 東大阪市 大阪市 平野区	48.1	昭16.12.3 昭51.9.20	38.4	昭46.4.1	大阪府東部地域における運動施設を主体とした広域公園	野球場改修 陸上競技場改修
枚岡公園	東大阪市	43.2	昭51.10.27 平8.1.8	43.4	昭13.2.21	生駒山系の山麓に位置し、金剛・生駒国定公園に含まれる公園	用地買収
住之江公園	大阪市 住之江区	15.1	昭27.1.30 昭49.11.27	15.1	昭5.10.8	大阪市内における運動施設を主体とした公園	野球場改築
住吉公園	大阪市 住之江区	10.8	昭27.1.30 昭51.2.6	8.0	明6.8.2	住吉大社の参道につながる市街地にある公園	
大泉緑地 (大泉緑道を含む)	堺市 松原市	123.0	昭16.12.3 平8.1.10	88.0	昭47.4.1	都市の中野「森林公園」として位置づけられた広域公園	用地買収 便所整備
長野公園		30.3	昭32.4.9 昭60.3.8	46.3	昭26.10.20	金剛山と和泉萬城山系の5箇所に点在し、風致を主体とした公園	
錦織公園		72.7	昭50.11.25 平1.2.27	51.0	昭62.3.27	南河内における風致を主体とした広域公園として整備	立体駐車場整備 用地買収
石川河川公園		172.6	平4.1.13	8.0	平7.4.1	石川あすかプランに基づき、高水敷を活用して、親水性あふれる公園として整備	野草広場整備 用地買収
浜寺公園 (泉北臨海緑地含む)	堺市 高石市	75.1	昭34.3.17 昭62.12.4	75.1	明6.12.24	松林の中の、パークや交通遊園を有する広域公園	
二色の浜公園	貝塚市	29.4	昭25.12.12 平6.7.29	26.3	昭26.16.1	海水浴場のある広域公園として整備	
蜻蛉池公園	岸和田市	124.7	昭38.12.28 昭62.2.27	23.6	平3.6.30	泉南における広域公園として整備	テニスコート基盤整備、用地買収
せんなん里海公園	阪南市 岬町	55.7	平5.3.26			海洋レクリエーションの拠点として整備	園路整備、修景植栽、基盤整備、便所、休憩所整備
合 計		1,117.0	16公園	719.1	16公園		

■ポケットパークの整備

府有建築物の敷地内のオープンスペースを活用し、憩いと潤いの広場を設け、施設緑化を図り、地域環境の向上および良好な街並み景観の創出に努めた。また、「ポケットパーク整備事業」として、大阪府立身体障害者福祉センターにおいて、ポケットパーク約200m²を整備した。

■府立学校の緑化

緑豊かな教育環境づくりの一環として、地域のみどりのシンボル的存在とともに、大気の浄化や都市景観の向上に資するため、概ね500m²程度の敷地に高木・中低木の植樹を施した「学園の森」を府立高校に整備している。平成7年度は、茨田高校において整備した。

■下水処理場の緑化

都市内に比較的まとまった面積を有する下水道終末処理場で緑化整備を行い、一部を府民に開放し、市の快適な環境及びふれあいの場を目指すとともに、府民に下水道事業に対する理解を深めてもらう目的のため、高槻処理場他6処理場において植栽を実施した。

④地域緑化の推進

■緑化樹配付事業の推進

緑化樹の養成と、住民が協同で行う地域緑化及び公共施設の緑化に対して約17万本の緑化樹の無償配付を行った。

■民間施設緑化推進事業の推進

民間施設緑化推進事業として、公益性が高く重点的かつシンボリックな民間施設の緑化（都市景観創出緑化型）として、りんくう国際物流、りんくうエネルギー・プラントや情報複合ビル3件に、また、地域景観の向上につながるモデルになる緑化（民間施設緑化型）として、千里幼稚園他7件に対して助成を行った。

■緑化支援隊による緑化の推進

緑化計画の作成から土壌改良、植栽、植栽樹木の管理指導までを行う「大阪府緑化支援隊」により着実な施設緑化を行った。

■工場等の緑化推進

工場環境の緑化を促進し、地域の生活環境と労働環境の保全を図るため、工場緑化用樹木の配布等を行った。

■緑化の知識の普及、指導

緑化センターにおいて、府民に対して緑化に関する総合的な相談を行うとともに、センターに設置している「大阪府緑化支援隊」により門真市スポーツセンター前市道等の緑化を行った。

服部緑地と大泉緑地において、花と緑の相談所を開設しており、専門の相談員による、樹木や草木など身の周りの緑化に関する相談のほか、四季折々の季節を彩る花や木の展示や自然の素材を活かした実習等を行った。

■大阪施設緑化賞

建築物等の敷地内や壁面、屋上などに緑化が行われているもののうち、これから施設緑化のモデルとなる優れた緑化施設について府民の推薦により、特に優れた施設を大阪施設緑化賞（みどりの景観賞）とし

て表彰（入賞施設5施設）した。

■緑化運動の推進

府民が一体となって緑豊かなまちづくりを進めるため、広く府民が参加できる「大阪府植樹祭」を東大阪市八戸の里公園において開催した。

■緑地協定・市民緑地制度等の活用

「都市緑地保全法」に基づく市民緑化制度、緑地協定制度等の活用により、市街地の緑地の保全管理と緑化を推進した。

■緑化センターの活用

緑化に関する総合的な指導及び相談を行う緑化センターを運営し、府民と協力して緑化を進めた。また、緑化支援隊の活動を通じて着実な施設緑化の推進を図った。

■風致地区の保全

適切な指導にあたり、風致地区の保全を図った。

第2 水辺環境の整備

①河川環境の整備

■河川環境整備事業の推進

芥川、石川、安威川、天野川等において河川の環境整備事業を実施した。



<天野川環境整備事業（交野市スポーツレクリエーションセンター付近）>

■治水緑地の整備

恩智川中・上流部（池島・福万寺地区、花園地区、法善寺地区）及び打上川の合計4か所において多目的利用に対する整備も含め、治水緑地の整備を推進した。

■ふるさとの川整備事業の推進

城北川、内川、松尾川、春木川、飛鳥川の5河川において、「ふるさとの川整備事業」を実施した。

■河川再生事業の推進

平成7年度に新規採択された道頓堀川を対象に、治水機能と河川環境の向上を目的に河川の二層化を含めた河川再生計画の策定に向けての基礎調査を行った。

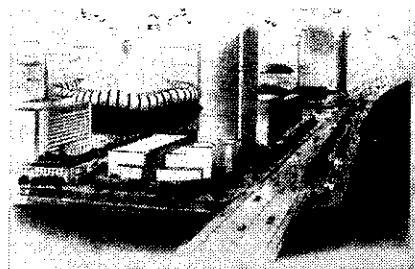
■河川公園の整備

石川河川公園を新規オープン（4月1日、8.0ha）させるとともに、さらに開設面積の拡大及び施設の充

実を図るため、整備を進めた。また、淀川河川公園の整備・維持管理に対して負担を行った。

■河川浄化事業

河川の浄化対策として、東除川及び西除川において、薄層流浄化施設を施行するとともに、藤井寺市・玉水川においては支川対策浄化施設を施行した。また、神崎川、平野川において浄化しゅんせつを実施した。さらに、平野川浄化ポンプの建設に着手した。



<スーパー堤防整備（岩崎橋地区）>

■スーパー堤防の整備

河川空間を活かした良好な市街地整備を図っていくため、木津川、尻無川沿いにおいて、スーパー堤防整備に資する盛土工事を実施した。

②海辺環境の整備

■南大阪湾岸整備事業の推進

りんくうタウンにおいて、りんくう公園（シンボル緑地、シーサイド緑地）並びに市町公園・緑地の整備を継続して進め、快適な海辺環境の創出を図った。

■港湾環境整備事業の推進

堺泉北港において、泉北6区の緑地・緑道の整備及び泉大津旧港地区の緑地の整備を継続して進めた。また阪南港において、岸和田旧港地区及び木材地区にて引き続き緑地整備を進めた（2-51表）。

2-51表 港湾緑地整備の進捗率

地 区	全 体 計 画 (昭和48～平成8年度)	平成6年度までの 実 績	平 成 7 年 度	平成7年度まで の 進 捗 率
堺 泉 北 港	泉北1区	2,590 m ²	2,590 m ²	— m ² 100 %
	泉北4区	3,670	3,670	— 100
	泉北5区	46,300	31,482	— 68.0
	泉北6区	128,000	53,674	2,982 44.3
	泉北7区	77,000	52,145	0 68.0
	堺旧港	34,000	0	0 0
	泉大津旧港	15,000	9,249	1,268 70.1
計		306,560	152,810	4,250 51.2
阪 南 港	阪南1区	130,000	105,335	0 81.0
	岸和田地区	1,500	1,500	— 100
	忠岡地区	7,300	7,300	— 100
	木材地区	9,000	3,180	1,667 53.9
	岸和田旧港	16,000	11,426	516 74.6
	計	163,800	128,741	2,183 79.9
合 计		470,360	281,551	6,433 61.2

■海岸環境整備事業の推進

淡輪・箱作海岸において府民の沿岸利用の増大及び多様化に対応するため、海水浴場・磯浜等の整備を進め、海洋性レクリエーションの拠点形成を図った。

■エコポート（環境と共生する港湾）の推進

平成7年4月に堺泉北港がエコ・ポートモデル港に指定され、港湾計画に、(1)大和川河口部の条件を活かした人口干潟の整備、(2)低未利用地の整備を機とした水際線の全面開放及びパブリックアクセスの確保、(3)豊かな水辺環境を創出するための親水緑地、海浜、カナル等の整備について位置づけた。

■海に親しむ府営公園の整備

せんなん里海公園について、平成9年の開設に向けて、湾岸プロムナード等の修景工事を行った。

■埋立地の活用

堺第7－3区に設置した「みなと堺グリーンひろば」を4月から11月の日曜・祝日に府民に開放した。

③ため池や水路等の整備

■オアシス整備事業の推進

オアシス構想に基づき、府下に散在する多くのため池を対象に、周辺の緑化や遊歩道等の整備事業を行い、水と緑に包まれたオアシス空間の整備を推進した。平成7年度においては、久米田池をはじめとする13地区で周辺緑地・遊歩道の整備等を実施し、粟ヶ池（富田林市）、新稻三池（箕面市）、大細利池（泉佐野市）が完成した。



<久米田池>

■いきいき水路の整備

水辺に近づける遊歩道の整備や休憩施設を設置することにより、農業用水路を府民の身近な水辺として活用するため、長瀬川（東大阪市・八尾市・柏原市）で水路改修等を行うとともに、津之江水路（高槻市）で整備事業に着手した。

第3 ゆとりある空間の確保

①歩道等の整備

■歩行者用道路の整備

国道（旧）170号線、国道307号線ほかにおいて歩道の設置を行った。

■サイクリング・ロードの整備

「北河内自転車道」（大規模自転車道）の整備（平成12年完了予定）を平成6年度から着手し、平成7年度末現在で3.6kmを整備した。また、北大阪サイクルライン(20.1km)、南河内サイクルライン(21.1km)は既に開設している。

■休憩場・案内標識の設置

簡易パーキング（太子町道の駅）の整備（平成9年完了予定）及び道路案内標識の設置を行った。

■街路樹の整備

豊中亀岡緑地5路線において、花木類を中心とした植栽等の整備を行い、大阪中央環状線他2路線で街路樹の育成状態が良くないものについて、樹種の転換、植樹樹の改良を行った。

■透水性歩道の整備

府道箕面池田線外において、インターロッキング舗装による歩道の再整備を行った。

②広場等公共空間の整備

■公開空地の確保

建築基準法に基づく総合設計制度の活用により、敷地内における公開空地を確保し、良好な市街地環境の形成を図った。

③歩道の通行性の確保

■電線類の地中化の促進

電線類（電力・通信線等）を道路下に共同で収容する施設を設置し、電線及び電柱を道路上から除去する事業を府管理道路5路線（約1.5km）において実施した。

■放置自転車解消のための広報・啓発

12月に放置自転車クリーンキャンペーンを展開し、ポスターの掲出・広報誌への掲載等による啓発のほか、街頭指導、撤去活動等を行った。

■駐輪場の整備の促進

自転車の放置を解消するため、市町村が行う自転車駐車場整備に対して助成を行い、2か所（岸和田市、吹田市）で計1,956台収容の駐車場が整備された。

■違法看板等の撤去

違法に掲出されている貼り紙、はり札、立看板などの簡易な広告物を約17万件除却した。